

香りの芝生

ランドスケープ研究会では、香りを楽しむ都市緑化手法として、ハーブ類を用いた「香りの芝生」を造成しています。

ハーブを用いた「香りの芝生」とは

- 都市緑化の1つで、「枝や茎が地面を這うように伸びて地面を覆う性質(匍匐性)」を持つハーブを利用した芝生のことを言います。
- ヒートアイランド現象対策として、都心部における狭小地の緑化が可能となります。
- 人工的に緑の地表面をつくるだけでなく、新たに香りを楽しむ緑化が実現します。
- ハーブの持つ香りは人に「リラックス効果」等の様々な効果をもたらします。

香りの芝生の維持サイクル

- ハーブを用いた「香りの芝生」は従来の緑化よりもコストがかかります。
- ランドスケープ研究会では、横浜キャンパスに香りの芝生を造成し、ハーブの持つ香りを楽しみながら日々維持管理をしています。
- 維持管理のため刈り取ったハーブから、ポプリやハーブ石けん等の商品を製造しています。
- ランドスケープ研究会では、学園祭等でハーブ製品を販売し、その利益を「香りの芝生」の維持管理費に充てています。

香りの芝生で用いられているハーブ



ローズマリー
Rosmarinus officinalis



ローマンカモミール
Chamaemelum nobile



クリーピングタイム
Thymus serpyllum



ペニーロイヤルミント
Mentha pulegium



維持・管理



剪定
(材料調達)

資金(売上)

二次的商品
(ハーブ石鹸等)



ランドスケープ研究会

メール: landscape.tcu@gmail.com
HP: [ランドスケープ研究会](#)
Instagram: @tanaka_le_lab

